

科 目 名	相談援助の理論と方法Ⅲ					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	山 田 美 保						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業は、相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱの知識を活用して実践する際に必要な専門技術と知識について概説する。具体的には、社会福祉実践における記録と個人情報保護、関連援助技術としてのケアマネジメントとスーパービジョンに関するものとする。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 社会福祉実践における記録の意義を理解する。 2) 社会福祉実践における記録の方法を知る。 3) 社会福祉実践における個人情報保護の在り方を説明できる。 4) ケアマネジメントの方法を理解する。 5) スーパービジョンの種類および活用場面を理解する。 6) 個人・家族への相談援助の展開に必要な知識・技術を指摘できる。						
学 習 方 法	パワーポイントを使用した講義、事例検討						
テキスト及 び参考書等	テキスト：『新 社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規、2009年 参考図書：相沢 譲治監修、『ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ』、(株) みらい、2010年 『新 社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規、2009年						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○	○	○		70	
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○	○		20	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○			10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	ソーシャルワークの実践理論・モデル (医学・生活・ストレングスモデル)						
第 3 週	実践アプローチ (1) 心理社会的・機能的・問題解決アプローチ						
第 4 週	実践アプローチ (2) 課題中心・危機介入・行動変容アプローチ						
第 5 週	実践アプローチ (3) エンパワメント・ナラティブ・その他のアプローチ						
第 6 週	事例に学ぶソーシャルワークの実際 (1) 支援の視点を理解する						
第 7 週	事例に学ぶソーシャルワークの実際 (2) 支援の展開を理解する						
第 8 週	スーパービジョンとコンサルテーション (1)						
第 9 週	スーパービジョンとコンサルテーション (2)						
第 10 週	社会福祉実践における記録の意義						
第 11 週	社会福祉実践における記録の種類						
第 12 週	社会福祉実践における記録の技術						
第 13 週	社会福祉実践と個人情報保護 1						
第 14 週	社会福祉実践と個人情報保護 2						
第 15 週	ケアマネジメント						
第 16 週	期末試験						
備 考	授業外学習 ・指定される範囲のテキスト・資料を講義前に読んでおくこと。 ・講義前後に配布資料・講義ノートの整理すること。						